

## 国語

## → 高学年 | ICT 機器活用授業

## ICT を活用した高学年の国語活動

## 1. 積極的な ICT 活用

本校では、Google のクラウド学習ツールを活用した授業を盛んに行っている。高学年の子どもたちにとって Chromebook を扱うことは、もはや、ハサミや糊を使うことと同等レベルの身近な道具となっている。

昨年度は、教師人生で初の5年生を担当した。しかもコロナ休校からのスタートである。子どもたちとは Google Meet や Google Classroom を介してコミュニケーションを取ることから始めた。私自身デジタル機器に疎い人間であるため、オンライン学級会や配信授業に大変不安があった。しかし、子どもたちは前学年までにローマ字入力を習得できていたこともあり、チャット機能等も使いこなしていた。ローマ字入力の技能は ICT を活用する上で必須であり、本校では2年生から学習を行っている。

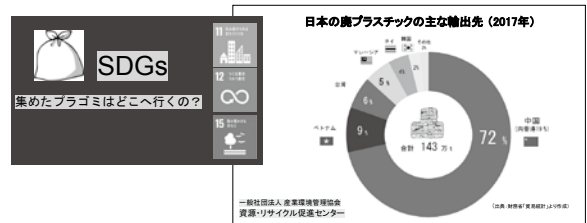
## 2. 実践例① Google スライド

「総合的な学習の時間」に SDGs について調べた。

自分が興味を持った項目や内容について、まずは本やインターネットで情報収集をした。次に、収集した情報をどのように組み合わせるべきかを取捨選択し、スライド作成を行った。

基本的な構成ができると、子どもたちは視覚資料の可能性を探索した。背景と文字の色味のバランス、フォントデザイン、インパクトのある効果など、興味は尽きない。操作が得意な子どもが喜々として友だちに教えている様子が見られた。

プレゼンテーションはグループ内で輪番に行い、友だちの発表を評価し合った。また、動画も撮影して学級の Google ドライブに保存した。

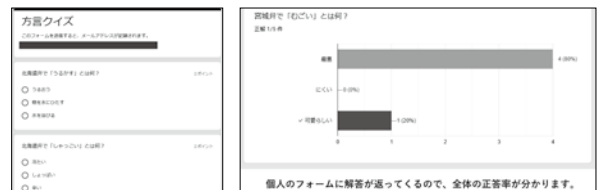


▲児童が作成したスライドの例

## 3. 実践例② Google Forms

「方言と共通語」(光村図書)の言語活動として、調べたことをクラウド上で回答できる「方言クイズ」を作成した。手順は以下の通りである。

- (1) 事前に教員が Forms で作成したクイズのひな型のデータを Google ドライブに児童数分コピーしておく。
- (2) 児童が考えたクイズと解答をひな型にそれぞれ入力する。
- (3) 出来上がったクイズを、Google Classroom で児童全員に配信する。



▲児童が考えたFormsを用いたクイズの例

子どもたちは、友だちが作成したクイズに取り組んだ。「送信」をクリックすると、自動的に解答と得点が表示されるようになっている。また、自宅のパソコンからも Google ドライブにアクセスできるので、繰り返しチャレンジできる。このように、ICT を積極的に活用することで従来の紙媒体で行う活動にはない良さもみつけることができた。今後も子どもたちが主体的に活動できる ICT 活用を模索していきたい。